



中央図書館 おすすめえほん

このほかにも図書館にはたくさんの本があります。スタッフにぜひお声をかけください



0~1歳

くだもの
「くだもの」
平山和子/作
福音館書店

たまごのあかちゃん
「たまごのあかちゃん」
神沢利子/作
柳生弦一郎/絵
福音館書店

パンどうぞ
「パンどうぞ」
彦坂有紀/作
もりといずみ/作
講談社

やさいさん
「やさいさん」
tupera tupera/作
学研

2~3歳

ちよっとだけ
「ちよっとだけ」
瀬村有子/作
鈴木永子/絵
福音館書店

100かいたでのいえ
「100かいたでのいえ」
いわいとしお/作
偕成社

しろくまちゃんのほっとけーき
「しろくまちゃんのほっとけーき」
わかやまけん/作
こくま社

三びきのやぎのらがらどん
「三びきのやぎのらがらどん」
マーシャ・ブロン/絵
せたていじ/訳
福音館書店

4歳~

おつきさまってどんなあじ?
「おつきさまってどんなあじ?」
マイケル・グレインイツ/著
らんか社

ラチとらいおん
「ラチとらいおん」
マレーク・ペロカ/文・絵
徳永康元/訳
福音館書店

からのすのパンやさん
「からのすのパンやさん」
かこさとし/作
偕成社

はじめてのおつかい
「はじめてのおつかい」
筒井頼子/作
林明子/絵
福音館書店

●絵本は子どもがいつでも手の届く場所に。紙の手触りや本に触れる感触から、本に親しむことが始まることも。



●工作や折り紙、料理などの本を見ながら、いっしょに作るのも「うちどく」です。

●同じ絵本を何度も読みたがることもあります。心ゆくまでくり返し読んであげましょう。



●親子でたくさん、本についての話をしましょう。家族のコミュニケーションを盛りあげるほか、読解力や表現力を高めることにもつながります。

●読み聞かせを押し付けるのは逆効果となってしまいます。まずは関心のありそうな絵本から始めてみて。



●大人が読む後ろ姿を見せること。お父さんお母さんが絵本を見ていたら、子どもは読んでほしくなりますよ。



ピッピ文庫上田さん おすすめえほん

読む絵本に迷ったらこちらも参考になります 「保育と絵本」瀧薫/著 エイデル研究所



0歳~

じゃあじゃあびりびり
「じゃあじゃあびりびり」
まっしのりこ/作
偕成社

おつきさまこんばんは
「おつきさまこんばんは」
林明子/作
福音館書店

だんごももんちゃん
「だんごももんちゃん」
とよたかずひこ/作
童心社

1歳~

がたんごん
「がたんごん」
安西水丸/作
福音館書店

かおかお
「かおかお」
柳原良平/作
こくま社

いろいろばあ
「いろいろばあ」
新井洋行/作
えほんの村

2歳~

ぼくのくれよん
「ぼくのくれよん」
長 新太/作
銀河社

はけたよはけたよ
「はけたよはけたよ」
かんざわとしこ/文
にしまきかやこ/絵
偕成社

はらべこあおむし
「はらべこあおむし」
Iリック・カール/作
もりひさし/訳
偕成社

3歳~

ぐりとぐら
「ぐりとぐら」
ながわりえこ/作
おおむらゆりこ/絵
福音館書店

ぞうくんのさんぽ
「ぞうくんのさんぽ」
なかのひろたか/作
福音館書店

めっきらもつきら
「めっきらもつきら」
どおんどん」
長谷川稔子/作
ふりや なな/え
福音館書店

4歳~

もりのなか
「もりのなか」
アリー・ホール・イツ/作
まさきりこ/訳
福音館書店

さよならさんかく
「さよならさんかく」
安野光雅/作
講談社

わたし
「わたし」
谷川俊太郎/作
長 新太/絵
福音館書店

5歳~

けんかのきもち
「けんかのきもち」
柴田愛子/作
伊藤秀男/絵
ポプラ社

さるとかに
「さるとかに」
神沢利子/作
赤羽末吉/絵
銀河社

しんせつなともたち
「しんせつなともたち」
ファン・イチョン/作
村山知義/絵
福音館書店